

平成23年度 第3回 府中市文化財保護審議会議事録

日時 平成23年10月19日（月）午後3時30分

場所 ふるさと府中歴史館3階会議室

出席者 田中会長、猿渡副会長、坂詰委員、長沢委員、馬場委員、福嶋委員以上6名

事務局 斎田文化スポーツ部長、英ふるさと文化財課長、江口課長補佐、塚原調査係長、庄司郷土資料担当主査、荻野事務職員

傍聴者 なし

1 審議事項

会長 それでは審議事項（1）について、事務局の説明求めます。

審議事項（1） 台風による文化財（市指定天然記念物大國魂神社境内樹木の一部）への被害及び今後の対応について

事務局 資料1をご覧ください。文化財として指定を受けた樹木の内、社務所前の大杉等は枯死していますので、現存の物は、「2 文化財の概要」にあるとおりです。

被害状況は（1）の公孫樹が台風15号の影響により、根元からヒコバエとして生えていた幹が林立していましたが、その内の数本が倒れてしまったという状況です。

その状況は、資料のカラー写真で示したとおりです。被害を受ける前の状況は別紙の資料のとおりです。

事前に猿渡先生、福嶋先生に観察していただきましたが、文化財指定樹木以外にもケヤキ、ポプラ等が被害を受けていたという報告をいただいています。

以上です。

会長 今後の対応についての提案はないのですか？

事務局 まず、先生方にご覧いただき、ご専門の福嶋先生の方からコメントをいただきたいと存じます。

福嶋委員 公孫樹に関してはあの状況で手を付ける方向は無いかなとおもいます。比較的大きな次の世代の樹木が育っていますので、枯れる事はないので、現状でいくしかないという感じです。

文化財指定以外の樹木で、根が浮いたりしています。東照宮の横のシラカシは根が腐っていますので、抜かなければなりません。

基本的に全体をさっと見せていただいたのですが、大きな木は基本的に弱っていると考えた方が良く、サルノコシカケがあちこちに付いている物はすでに中に腐食が入っていると考えないといけないので、それに関して今後どうしていくか考えないといけない。その一つの方法として枝を落として軽くしていく。

ただ、枝を切りすぎる傾向にあるので、切り方はよく注意してやってもらわないといけない。

もうひとつ、この審議とは関係ないのですが、境内を拝見して、なんでこんなに雑然と木が植わっているのかという素朴な疑問があります。色々な種類が入っていますので、全体の構成を考えた木の管理があってもいいのかなというイメージも受けました。

いずれにしても、文化財に指定されている2本の木は、健全な状態であるとはいえない部分がありますので、注意深くチェックしなくてはならない。それ以外の木でも弱っているのは対応を考えていくことも必要です。

大國魂神社の社叢という大事な部分が文化財指定の理由としてありますので、全体を意識しながら、文化財指定樹木の2本を考える必要があります。

以上です。

会長 公孫樹の木に関してどういう対策をすればよいのでしょうか。

福嶋委員 詰めているコンクリートを全部取って、腐食している中をきれいに全部取って、そこに防腐剤を塗ってそのままにしておくという感じだろうと思います。

コンクリートなどの詰め物をするのは基本的に拙いとされていますので、それはやらない方が良いでしょう。

あれだけ低くなれば、幹が倒れることはまず無いので、むしろ腐食が進まないような処置をしてそのままにするのが現実的です。

経費は掛かりますが、それはやっておいた方が良いでしょう。

会長 公孫樹が折れたあとの空間に近所の木が侵入して、公孫樹の元に戻ろうとする勢いを削ぐことはありませんか。

福嶋委員 今の段階は空間が空いたので、取り合えずは良いです。それぞれの木は枝をなるべく伸ばしたいので、その競争に勝つか負けるかだけの話です。

枝は1年に1メートルも伸びませんのでしばらくは大丈夫です。

会長 根も同様に侵出しているのです、どうなのでしょう。

福嶋委員 土を掘って見ると、すでにそれぞれの木の根が絡み合っている状態と考えられます。植えた木が多すぎる、色々な種類があり過ぎるという気はします。

付け加えますと、境内全体の樹木への対策として、弱っている木は抜いて新しい物に植え替えるというのも考えていかないと駄目かなとおもいます。

会長 猿渡先生いかがでしょうか。

猿渡委員 建物の上に枝が張り出していて、今回（台風15号で）3箇所ほど枝が落ちて銅板に穴が開きまして、御本殿の中にシミができましたので、今後どうすべきか伺いたいです。

福嶋委員 御本殿の裏の柵の内側の桜は歪になっていますので、抜いた方が良いでしょう。その外側のケヤキは完全に裏側半分になっていますので、倒れるとしたらモロに御本殿に倒れますので抜いて別の物に植え替えると良いと思います。

木は丈夫そうに見えても実はポキッと折れる、少し傷が入っても折れたりします。木があるということは、木は折れると考えた方が良いでしょう。それによる被害をいかに軽くするかということは、丹念にいつもチェックしておくことです。

会長 風で傾斜がついてしまった木はあるのですか？

福嶋委員 ケヤキで1本完全に根が浮いてしまっているのがありました。場所は何処でしたでしょうか。

事務局 国衙の指定地、施設整備地の近くです。

福嶋委員 それは完全に根が浮いている、でも最近曲がったのではないようです。アスファルトはめくり上がっていますが、（最近の台風の影響なら）アスファルトの裂け目がきれいに見えるはずですが、それがありませんので。いずれにしても根鉢が小さいです。小さい時から植わっていれば根が張っていますから風では倒れません。どれくらいの時期に植えたかは判りませんが、けっこう

大きくなってから植えて、あまり根が張っていない状況と考えられます。

それから是非、宮司さんをお願いしておきたいのは、駐車場の中にある一番大きなケヤキです。あれはとても貴重なので駐車場の車を5台ぐらい駐車しない空間を作って、(木の)中のコンクリートを取って腐った所をきれいに取って防腐剤を塗り、ぜひ残してください。境内の中で一番大きな木ですし、おそらくこの多摩の方でも御岳山でしたか都指定のケヤキあるのですが、たしか...

長沢委員 神代ケヤキです。

福嶋委員 神代ケヤキですか、あれと並ぶくらい大きいと思いますので大事にしておいた方がよいです。

二枝が出ていますので、もしかしたら支柱を立てて支えた方がよいかもしれませんが、中が完全に腐っていますので。皮の生きている部分で全体を支えていますので上の大きな枝の重さに耐えられない可能性もあるだろうとおもいます。

中を開けて見ないと判りませんが、あれ位大きくなれば必ず中は腐っています。

神代ケヤキも中がなくてつかえ棒で支えています。

植物の生きている部分は皮の部分だけです。中は死んだ細胞です。あとは重さがどうなるかです。

会長 セメントを入れるのは簡単ですが、取るのは大変です。

福嶋委員 でも取らないといけません。ちゃんとした業者なら出来ます。

コンクリートは表面だけで、中は空洞です。

コンクリートで埋めるのは、外から見て見栄えが良い様にというだけです。植物にとって良いかどうか関係ありません。

それからケヤキ並木のあちこちの切り口に被せているブルーのキャップは外したほうが良いと思います。中が腐っていますので、効果が無くなっていると思います。それよりキャップを外して腐食部分を取って防腐剤を塗るほうがはるかに大事だと思います。

会長 (あのキャップは)何十年だったか、40年ぐらいそのままでしたが。たぶんケヤキの治療だと思って信じていたのだと思います。

審議事項(1)はこれで良いですね。では審議事項の(2)について事務局より説明願います。

審議事項（２）旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕の保存整備工事について

事務局 白糸台掩体壕の保存整備工事についてご説明いたします。

右上の「資料２」と入っていますA３版の図面をご覧ください。

既に本審議会ですら逐次ご報告した白糸台掩体壕につきましても、本年度保存整備工事を実施する予定です。現在、最終の実施設計を取りまとめている所です。

これが本日審議していただく実施設計案となります。

今までの経過を再度説明いたします。

文化財指定の後、保存修理を緊急で行い、実施設計を行って、一旦3,000万円ほどの整備工事案を策定しました。

しかし、その後の財政状況が厳しいため、改めてここで見直して、本年度、簡易な形で、この様な形で整備計画を取りまとめたところでは。

実施方法は、以前、概要をご審議いただきまして、審議会でのご意見を頂いた物を踏まえて取りまとめました。

全体の平面図となる資料の1枚目をご覧ください。

掩体壕の躯体部分については保存修理が既に実施済みですので、今回は特に手を加えません。中は安全対策上、一般の見学者は入れませんので、柵を設け、但し、両開きの門扉を付けて、子供たちの学校見学や、一般希望者には市の職員等がご案内して中に入れるような状態にします。

掩体壕の中は今（地面より）かなり下がった状態で、下の方まで露出した状態ですから、ここに土を盛り、遺構の保護に努めます。

外側部分、図面には方位が入っていませんが、上が北で国道20号側です。

進入は東側からの一方通行での車道があつて、東と北側部分は歩道上空地としてセットバックします。そこに柵を設け、基本的には北東隅に自転車駐車を設け、そこもフェンスで囲います。

入り口は北側中央部と北西コーナー部分の車止めと書いてある2箇所に設け、それ以外は柵で囲います。

入り口を入り、インターロッキング舗装で雨水浸透を行い、北側からスロープで車椅子の方も一段下がった部分まで入り、中がフェンス越しに覗ける設計です。

解説板は、右側の「コンクリート擁壁でメッシュフェンス」と書いてある所に設置する予定です。

西側は、現状の土盛りをそのまま生かして、コンクリート擁壁の上にメッシュフェンスを張ります。

（資料2の）裏面をご覧ください。こちらが（縦）断面を見たところで、A-A'が東西の断面図、B-B'が南北の断面図になります。

まず東西をご覧いただきますと、西側から入って行きまして、一段下がっている所が覗き面になり、掩体壕の躯体の正面部分にはフェンスが張られるようになります。土盛りして中は砂利敷です。

次にB-B'の西から向かって見た断面図をご覧ください。このようにフェンスを張ります。現状は既存のネットフェンスを張っていますので段差ができています。現在協議中ですが、手製でこの様な形の丸みを帯びた掩体壕の形に合わせるようなフェンスを発注したいと考えています。

その両脇は既製のフェンスを張って、基本的には、掩体壕の躯体の中には入れないような形で対応します。

子供たちもここには登れないような高さのフェンスを設置します。

(資料2の)表面の平面図に戻ります。

整備関係の120号ですが、既に掩体壕を保存する会や市民等からご要望も頂いていましたので、それを踏まえて今回整備計画を策定して参りました。

まず、調布飛行場全体の歴史をとのご要望ですが、既に三鷹市さんと調布市さんの担当者と先般第1回の評議会という形での話し合いを持ちました。

今回の整備工事についても今後、府中、三鷹、調布の三市で連携していこうということで情報交換や連携事業についての確認を始めています。

看板も、既に審議会でご意見、ご指導いただきまして、都立武蔵野の森公園にあるような大きい看板を主体として、「掩体壕とは」から調布飛行場全体の歴史も分かるような形で解説板は策定したいと考えています。

学校教育との連携ということで、既にご案内のとおり、この白糸台掩体壕は教育出版の教科書に掲載され、小学校6年生の社会科の教科書に載りましたので、関係課との連携ということで、今後、この整備工事が終わった後は、地域の学校を中心として見学できる形で、学校教育の方と連携して参りたいと考えています。

掩体壕の内部には当初、自動で点くようなライトも考えたのですが、電気を引っ張ってくる事がかなり難しいところがありますので、基本的には中は日中の見学の際に覗けるような形で、夜間は防犯上、パッシングライトの様な物を設置する計画です。

近隣の学校を含めて掩体壕を保存する会という勉強されている会の方もいらっしゃるのので、近隣住民も含めまして中に入れるような機会を今後設けて行きたいと考えています。

保存整備工事に併せて、「掩体壕とは」という案内パンフレットを作成して、解説板の脇等にパンフレットスタンドを設置し、パンフレットを無料で配布できる物を作りたいと考えています。

史跡としての保存は、既に保存修理が終わって、今回は何もしないと説明し

ましたが、適時、その確認は整備後も行います。

西武多摩川線の駅からの案内については、保存整備工事に併せて案内看板を設置する予定です。

今後、掩体壕を保存する会の皆さんや地元の白糸台の自治会の皆さんと今月末から来月頭にかけて、説明会を開催し、近隣住民の皆さんを含めてご了承いただいた上で工事を進める予定です。

工事は来年3月までで、供用開始は来年4月以降の予定です。

以上です。

会長 今日のご欠席の藤井先生の意見はどうでしょうか？

事務局 既にご指導いただいています。掩体壕の上に重量物を置くような行為が無い限り耐震診断上はこれで安全との結論になっています。

以前、文化財審議会でご指導いただいているように、中の構造物で支えるようなことはしません。

安全柵を設け、掩体壕の躯体の中には入れない構造にしていますので、これの上に乗る事がないのであれば、これで構造上は問題ないというご指導をいただいています。

会長 (B-B「断面図の左端のフェンス図を指して) フェンスはこの様なものですか。これを周囲に張るということですね。

事務局 そうです。

会長 掩体壕の正面のフェンスは掩体壕の形に合わせたものですね。

事務局 そうです。掩体壕の正面だけは既製のフェンスですと段差が付きますので手製で掩体壕の形に合わせる丸みを帯びた形のフェンスにします。

会長 インターロッキング舗装とはどのようなのですか。

事務局 インターロッキングはレンガ状の透水性の舗装で、柔らかいイメージにしたいと採用しました。

緑地の説明を忘れました。付け加えます。

(資料2の平面図で) 薄いトーンが掛かっている掩体壕の躯体の周囲に「緑地(地被植付)」と書かれていますが、これは芝生状の手入れが要らない下草が

あるそうで、それを植えたいと考えております。

福嶋委員 外来の物は入れない方が良いですね。日本の歴史遺物ですから、日本産の植物を植えるのが重要です。

業者に任せると、成長しないとなると外来の物を使う可能性もあるので、それは拘っていただきたいです。

会長 他に、こういう風にした所はあるのですか。

事務局 一番日本で早いのは大分県宇佐市の掩体壕があります。遺跡公園として同じような緑の芝生の中に遺跡設置をしています。東日本では初めてです。福岡県行橋市さんが計画中で、まだ整備されていませので、大分県宇佐以来だと思います。大分県は海軍ですので、旧陸軍の遺跡では初めてです。

会長 調布はどうしているのですか。

事務局 調布の武蔵野の森公園は残っていますが、町田市の方が先に整備例があります。2基ありまして、2基とも鉄筋が抜かれてボロボロの状態です。1基が何も手付かずで柵をしている状態、もう1基が中を発泡ウレタンで充填してそこに飛燕の絵が描かれているという整備手法です。

そういう意味では、東日本に既にあります。

猿渡？委員 飛行機の模型を作る話は無かったですか。

事務局 ありましたが、残念ながら予算との関係で実現していません。今でもそのご要望は頂きます。

会長 飛行機の模型を作ると予算が足りないのですか。

事務局 模型を作ることが出来なかった最大の理由は、予算の関係ではなくて、飛行機を入れるとなると現状の路床の車輪、尾輪の面まで下げないといけません。そうするとゲリラ豪雨の時におそらく水没してしまう位に下げることになります。それを防ぐためにポンプアップして排水する設備を作らないといけなくなります。計算したのですが、ポンプアップしてもおそらくゲリラ豪雨には対応できないとなりまして、それだけ深く掘ることは諦めざるを得ないというのが理由です。

福島委員 小さな模型は可能ですか。

事務局 それは考えたのですが、武蔵野の森公園で既に作っています。その模型が先日イタズラでプロペラが折られました。この施設は普段無人の状態になりますので、それは難しいかなと考えました。

その代わり、解説板に判る形で飛燕の絵を入れようと考えています。

模型は郷土の森博物館に常時置いておく形ができれば良いかと考えています。

坂詰委員 大分県宇佐市のは屠竜爆撃隊の重爆の基地です。その中に零戦を置いたのです。ああいう入るものを無理して入れない方が良いのではないかと。本来、大きな飛行機の倉庫ですから、わざわざ零戦を持ってきてそこに置くのは非常におかしなことです。これが零戦の格納庫、倉庫ですかと聞く方が来ますから。そういうのは止めたほうが良い。写真の方が良いのではないのでしょうか。

馬場委員 写真はあるのですか。

事務局 飛燕が入っている状態の写真は残念ながらありません。ただ、他の場所で飛燕が写っている写真はあります。

猿渡委員 調布飛行場で撮った写真はありますか。

事務局 あります。

坂詰委員 それではいくつか写真があった方が良いでしょうね。

武蔵村山市の陸軍幼年飛行学校の件は聞きましたか。海軍の方が府中にありますね。陸軍は武蔵村山です。今、その大きな陸軍幼年飛行学校を残そうという運動を非常に沢山やっています。その連絡はありませんか。

事務局 いいえ、未だです。

会長 掩体壕の名称は「白糸台掩体壕」で決まったのはいつですか。

事務局 平成20年です。

会長 白糸台というと、上染屋か車返で、あの辺は車返だったか、上染屋じゃ

なかったか。白糸台は新しい名で良いかもしれないけど。

事務局 たしか、その議論の時は、調布飛行場の掩体壕に順番が付いていると想定されますが記録に残っていないので、旧字名とか付けられないから、現「白糸台」が良いだろうとなったと思います。本来は何か付いていたと思います。旧字名か第何号とかです。

会長 もし知っている人が居たら、あれは何々という名前だったとか第何号だったんだよと言っていただけだと思います。

福嶋委員 あの一帯は空襲を受けて、たまたま残ったということではないですか。

事務局 あの一帯は空襲は受けていません。実際B29が来て飯泉優先生が飛燕が飛び立ったのを見たと言われたので、見た方は居たのですが、空襲は受けていません。

福嶋委員 そうなのですか。

会長 爆弾の穴とかはありましたね。空爆はあったのでは？

事務局 模型が入っていないのは残念ということはあるのですが。

会長 本当の模型、ミニチュアを作って展示するというのはどうかな。それで想像させるというのもありますね。

馬場委員 調布や三鷹と協力して調布飛行場全体の周辺部を含めた模型でイメージできたら、もしかしたら良いかもしれません。

事務局 あると良いですね。この審議会でもご意見をいただいています。高射砲の陣地とか掩体壕以外にある訳ですから。先ほどの話と関連しますが東京都が絡んでそれを提携してやっていただければ良いかと思います。

馬場委員 先ほど電話で聞いただけなのですが、『調布飛行場の歴史』という本を出版された方がいたそうです。

事務局 先ほど、お預かりした本がこちらです。市民の方で山本豊さんです。
（『調布飛行場の歴史』山本豊著を委員に回覧）、中に飛行場関係の資料・写真・地図とかが載っています。

馬場委員 （著者は）その地域に住んでいる方で、調布飛行場が出来るので土地を提供しろとか言われた方です。多磨村の歴史とかも載っています。

会長 白糸台掩体壕の事が載っている小学校の教科書はこちらにあるのですか。

事務局 掲載号をこちらで入手します。内容は、東大和の機銃掃射の傷跡と白糸台掩体壕の写真が出ていて、特別コーナーの戦争のコーナーの1ページです。

会長 教科書の出版社は何社かあって、採択された一つですか。

事務局 小学校6年生の教育出版で、来年も同じ教育出版になったと思います。

会長 審議事項（2）の審議はこれで終わりにします。次に、報告事項（1）の説明をお願いします。

報告事項（1）国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館の開館について

事務局 国史跡武蔵府中熊野神社古墳展示館の開館について報告いたします。

展示館は9月17日に開館しました。開館した事は新聞等に掲載していただきました。現在（10月16日）までのほぼ1ヶ月の入場者数は、1,148名です。本日もウォーキングの方が午前中で160名来たそうです。かなりの方に来ていただいています。

館の運営は、熊野神社古墳保存会と委託契約をして、10月1日から同会の会員により半日交代で10名の方が受付をしています。

古墳についての質問や館の案内も丁寧にさせていただいて好評を得ています。

また、11月26、27日に古墳まつりを開催しますので、展示館の宣伝もこれに併せて実施します。

以上です。

馬場委員 運営の方はボランティアですか。有償ですか。

事務局 有償ボランティアです。

会長 天候が悪くて休館することはありましたか。

事務局 9月21日に、台風15号の影響でかなりの風雨でしたので、臨時休館にしましたが、それ以外は基本月曜日が休館です。

会長 臨時休館の決定はふるさと文化財課で行うのですか。

事務局 はい、当課で決定します。ただ、よほどの理由がある場合だけにしていきます。

会長 石室の模型はいつ完成しますか。

事務局 施行業者は決まっています。来週から現地で工事を開始します。組み上がりは年明けになる可能性が高いので、次回の文化財保護審議会での視察はできません。模型自体の完成は1月末の予定、その後周辺整備をし、全体が終わるのは2月末です。

会長 報告事項（2）の説明をお願いします。

報告事項（2）武蔵府中ふるさとまつり2011の進捗状況について

事務局 武蔵府中ふるさとまつり2011の進捗状況について報告いたします。

先週10月9日の日曜日、午前中は、本町御殿地地区で家康の鷹狩り再現ということで放鷹術の実演会を開会しました。1,000人近くの来場者があり、大盛況でした。午後は、ケヤキ並木通りで府中小唄民謡流しと国司パレードを開催し、併せて東北被災地支援で、宮城県多賀城市、山形県米沢市、福島県喜多方市の東北物産展を開催し、盛況に行えました。

11月の最終の土日には、古墳まつりを開催します。今度の日曜日には中西進先生の講演会「古代東国のいぶき」を開催します。もしお時間よろしければ、ご来場いただければと存じます。11月終りの古墳まつりを以って、ふるさとまつりは終わります。

今回も皆さん本当に良かったと言われましたので、来年度も以降も継続し、定着していきたいと思っております。

ただ、文化財課としての反省点は、今回から観光的なイベントが主体で経済観光課と共同でやっていますが、例えば一昨年、の国府サミットに合わせて文化連の皆さんに作っていただきました国司隊の衣装も文化的価値を市民に伝える

という意味ではまだまだ足りないですので、次年度はふるさと府中歴史館の活用も含めて色々のご意見を伺いながら実施していきたいと考えております。

以上です。

会長 去年との比較ではどうですか。去年は天気が良くなかったですね。

事務局 去年の約2倍以上の来場者がありました。去年の天気は良かったです、一昨年は荒天でした。

会長 報告事項（3）の説明をお願いします。

報告事項（3）平成23年度文化財ウイークの実施について

事務局 東京文化財ウイークの実施について説明いたします。

お手元にお配りした東京都作成の文化財ウイークガイドブックをご覧ください。今年は2冊です。表紙下が黄色のが特別公開つまり時期限定公開の企画・事業です。緑色のが通年公開の企画・事業です。

府中市も例年通りです。特別公開の14ページにある農工大学の本館、善明寺の阿弥陀様、上染谷不動堂の阿弥陀様です。阿弥陀様は両方とも11月3日の公開です。

文化財ウイークの期間は11月一杯です。今年度からはふるさと府中歴史館もガイドステーションの位置づけで、質問等に答えていくことになっています。

以上です。

会長 よろしいですか。では今日の議題は以上です。

（1）次回の開催日程について

次回平成23年度の府中市文化財保護審議会の第4回です。

日程は、平成23年12月14日（金）の午前10：00からが第1候補、12月16日（水）の午前10：00からが第2候補となりました。

期日が近づきましたら、委員の皆様のご都合を合わせ、いずれかの時間帯で実施することといたします。